

大学入学共通テストでは 英検準1級程度 の力が求められます!

大学入試と大学入学共通テスト

国公立大学の一般選抜受験者は、原則大学入学共通テストを受験しなければなりません。9割近くの私立大学でも共通テストの成績を利用した入試方法を採用しています。また、英検などの民間試験を取り入れ、合否判定の得点に加点をしている大学も増えています。

大学入学共通テスト(英語)の現状

- ・英文読解量が増加傾向(リーディングの総語数:5,500語~6,000語程度)
- ・文法問題は廃止。すべて読解+情報処理型の設問
- ・英語力だけではなく、思考力・判断力・要約力が求められる



総語数が6000語の場合(試験時間80分)

高校生平均読書速度
(75単語/分)

読む時間80分

必要な読解速度
(150単語/分)

読む時間40分

解く時間40分

だから

読む時間の短縮には
長文速読が必須!

英語を英語の語順で理解するトレーニング。だから、長文も早く読める!

語彙力UP 単なる丸覚えではなく キーセンテンスを何度も練習 し文脈の中で単語を覚えます!	速読力UP 英文を短い文節ごとに 前から読んで「英語を英語の まま理解する」練習をします!	文章読解力UP 様々なテーマの英文に触れる ことで、文章の要旨を把握し 正しく読み取る力がつきます!	リスニング力UP 英語の語順で理解する力は リスニング力の土台。聞き取りの 精度が格段に上がります。
-------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------

浦和高校
高2で
英検準1級
将来の夢 研究者
Hidehiroさん
マンツーマン英会話を約6年間続け、会話力も向上し、目標にしていた**英検準1級**を取得しました。

「長文速読コース」のトレーニング方法

速読力をつけるのに必要なのは、「英語を英語のまま理解する」力を身につけることです。例えば、英文を日本語の語順で読むのは、英語という「暗号」で意味を理解しているような状態になります。当コースでは、英文を文節ごとに前から読んで理解するトレーニングをします。そうすることで「英語を英語のまま理解する」力が養え、速読力や読解力・リスニング力がつくのです。

(例文) I know a man who runs three restaurants in this town.

×日本語の語順で読む

I(私は) / in this town(この町で) / three restaurants(3つのレストランを) / who runs(経営している) / a man(男を) / know(知っている)

○文節ごとに前から読む

I know a man(私は男を知っている) / who runs three restaurants(3つのレストランを経営している) / in this town(この町で)